

大和郡山 防災ニュース 29. 1月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

出初式にご来場ありがとうございました！

去る1月7日、矢田の総合公園施設において、平成29年消防出初式が開催されました。今年は、初めて自主防災組織の代表の皆様にもご来賓としてご出席をお願いして、40の組織からご出席を賜りました。また、住民の皆様も多数お越しいただきまして、特に屋外グラウンドでの、消防操法披露、消防団・消防職員による分列行進や一斉放水の際は、観客席の大半が埋まるほどの盛況となりました。

式典では、「防災結束セレモニー」というものを行いました。これは、市内において防災に関わる「自主防災組織」「消防団」「市役所」が結束を確かめあうもので、上田市長と消防団の藪田団長、自主防災組織からは長年地域防災活動を行われている筒井の南市場自主防災会代表の山下 浩生氏の三者が固い握手を交わしました。

この出初式をひとつのきっかけに、自主防災組織など組織的に防災に関わっている住民のみならず、多くの住民の心の片隅にでも防災への関心が宿り、また屋外式典における消防団員、消防職員の力強い行進や消防ポンプ車、救助工作車、化学消防車、ハシゴ車（展示のみ）、救急車の行進・展示による次代を担う子どもたちに消防への関心が生まれたらうれしく存じます。

奈良県LPガス協会郡山支部・大和郡山市燃料協同組合と災害時の協定を結びました

去る1月20日、奈良県LPガス協会郡山支部・大和郡山市燃料協同組合と大和郡山市が「災害時におけるLPガス等の優先供給に関する協定」を締結しました。この協定の内容は、大和郡山市内において地震、風水害、大火災による災害が発生した場合に必要なLPガス及びLPガス器具の調達及び安定供給を得るための協力体制を確保するものです。

災害時には、家屋倒壊等による被災者の避難所や仮設住宅での生活が余儀なくされたり、電気・ガスなどの既存インフラに重大な被害が及ぶことが想定されます。そんな時でもLPガスは給湯や煮炊き、暖房や発電を行うエネルギー源として使用可能です。当日は市長や市内協会関係者のみならず、奈良県LPガス協会の役員も駆け付けて締結式を行い、互いにその意義を確認すると共に、報道関係者等を通じて広くこのことをお知らせしました。

大和郡山市シルバー人材センターと災害時の協定を結びました。

今月は、大和郡山市シルバー人材センターとも災害時の協定を結びました。

シルバー人材センターは市と密接な関係のある公益団体で、高齢者の仕事の創出の一環で市民や公共施設を対象に剪定や草刈作業を請け負っていますが、その際に使用している小型ダンプ車を地震、風水害、大火災による災害が発生した場合に提供していただき、被災地の復旧や被災者の救援活動に活かしていくものです。

防災関係各部署と2ヶ月に1度防災合同会議を行っています

大災害時に災害対策本部としても使用が想定される本庄町の防災センター。いざという時、この防災センターを拠点とする団体（警察署、大和郡山消防署、消防団、市（市民安全課））が協力していくため、昨年7月から防災合同会議を行っています。既にご紹介した昨年8月31日防災センターにおける合同災害時図上訓練もこの合同会議での発案がきっかけとなったものでした。10月からは更に水防担当の市都市計画課、管理課、建設課の参加も得て、防災担当者同士お互い顔の見える関係の中で会議や訓練などを通じていざという時の協力体制を築きたいと思っています。

消防団への委託事業「空家外観調査」が終了しました

昨年6月15日から市より消防団への委託事業「空家外観調査業務調査」を行ってまいりましたがこのたび終了しました。結果は、調査件数3379件に対し、空家件数1008件、うち管理不全指摘件数400件でした。今後はこのデータを所有者への管理依頼や利活用促進に活用してまいります。

大和郡山防災のニュースは、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース

↗

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ!』をご覧ください!

大和郡山市消防団へようこそ

↗

編集後記

出初式が無事終わりました。消防署・団関係者にとって出初式が終わって初めて年が明けるという実感です。防災の課題はまだまだ続きますが、自主防災組織との新しい絆にも力を得ながらがんばりますので、今年もよろしく願います。

発行人 市役所市民安全課